

|   |   |      |       |
|---|---|------|-------|
| クラス   | TU302   | 担当教員 | 今井 理恵 |
| テーマ   | 特別なニーズのある子どもと共に学ぶ ―教育の意義と課題   |      |       |
| 著書・論文<br>研究課題等  | <p>(著書)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>『インクルーシブ授業をつくる』、共著、「参加と共同を軸にした授業づくりの方法論」、ミネルヴァ書房、2015.</li> <li>『発達障害児のキャリア形成と授業づくり・学校づくり』、共著、「生活指導、学級づくりを核としたキャリア形成の方法」、黎明書房、2011.</li> <li>『特別支援教育を変える授業づくり学級づくり1、芽生えを育む授業づくり・学校づくり』、共著、「授業を通じた人間関係力の形成」、明治図書、2009.</li> </ul> |      |       |
| <b>ゼミナール概要</b>  |   |      |       |
| キーワード：特別ニーズ教育、特別な教育的ニーズ、発達障害、インクルーシブ教育、学習の共同化   |   |      |       |
| <p><b>目的、内容、方法、授業計画</b><br/>(学習目標)</p> <p>特別な教育的ニーズ (SEN) のある子どもの成長と発達を支える教育のあり方について、インクルーシブ教育の観点から考えを深めます。</p> <p>(内容、方法)</p> <p>子どもの生活現実と SEN に対する認識を深め、さまざまな課題を抱える子どもに対して教育はどのように応答しようとしているのかを考察・検討します。そのうえで、一人ひとりが排除されることなく、お互いの差異を認め合い、多様な他者とのつながりのなかで共同的に関わり、学び合う教育実践のあり方について追求します。</p> <p>(授業計画等)</p> <p>1. SEN のある子どもの生活現実をよみひらく、2. 子どもの生きづらさと向き合う、3. 子ども観を問い直す、4. 特別なニーズ教育について認識を深める、5. SEN のある子どもの学びについての現状と課題を探る、6. 「共同的な学び」のあり方について追求する。</p> <p>～～～オープンキャンパスのゼミ紹介で、ゼミ生たちが以下のように今井ゼミを紹介してくれました～～～</p> <p>あなたは「特別ニーズ教育」という言葉を知っていますか。生きづらさを抱えた子どものニーズは多様です。そういった一人ひとりの子ども・一つひとつのニーズと向き合い、どのような支援・指導を行うのか、子どもの幸福とは何か追求していくことが私たちの考える「特別ニーズ教育」です</p> <p>私たちは子どもたちの生きづらさと向き合いながら、現代の教育の在るべき姿について日々研究をしています。具体的にはいじめや不登校、発達障害や外国籍の子どもの支援等個々に興味を持ったテーマを持ち寄り、仲間と共に研究・議論をすることを通して現代の教育における課題や私たちにできることについて理解を深めてきました。教育実習や個々で行っているボランティア活動などの実践から見えた様々な事柄についてゼミで共有し、多面的な視点から問題を捉えることを大切にしています。</p> |   |      |       |
| <b>担当教員からのメッセージ</b>   |   |      |       |
| <p>特別な教育的ニーズに応答する教育は、特別支援教育だけの問題ではなく、通常教育においても今日いっそう求められています。教育のあり方について改めて問い直し、発達障害、いじめ、不登校、貧困の子ども等の教育問題など、特別な教育的ニーズのある子どもの“教育”についてさまざまな視点から共に考えていきましょう。</p> <p>ゼミは学生が主体となって学びと活動をつくりだしていく場です。上記にあげた学習課題を中心的に文献講読、教育実践記録の分析・討論、研究会への参加などを行いながら学びを進めていきますが、基本的にはゼミで学習する内容はゼミ生たちが主体的能動的に決めて進めていきます。問題意識を持って研究テーマを設定し、“積極的”にゼミ活動に参加することを期待しています。</p>   |   |      |       |